共生型 地域福祉ターミナル 地域オープンサロン

OPEN

地域福祉の拠点として福祉に関する情報を集約し、障がい者、高齢者、子どもに対して一体的にサービスを提供することを目指して、NPO法人ゆうゆう24が主体となって運営する共生型地域福祉ターミナル、共生型地域オープンサロンが近日オープンします。

今回は、この2つの施設で行われるサービスを紹介します。

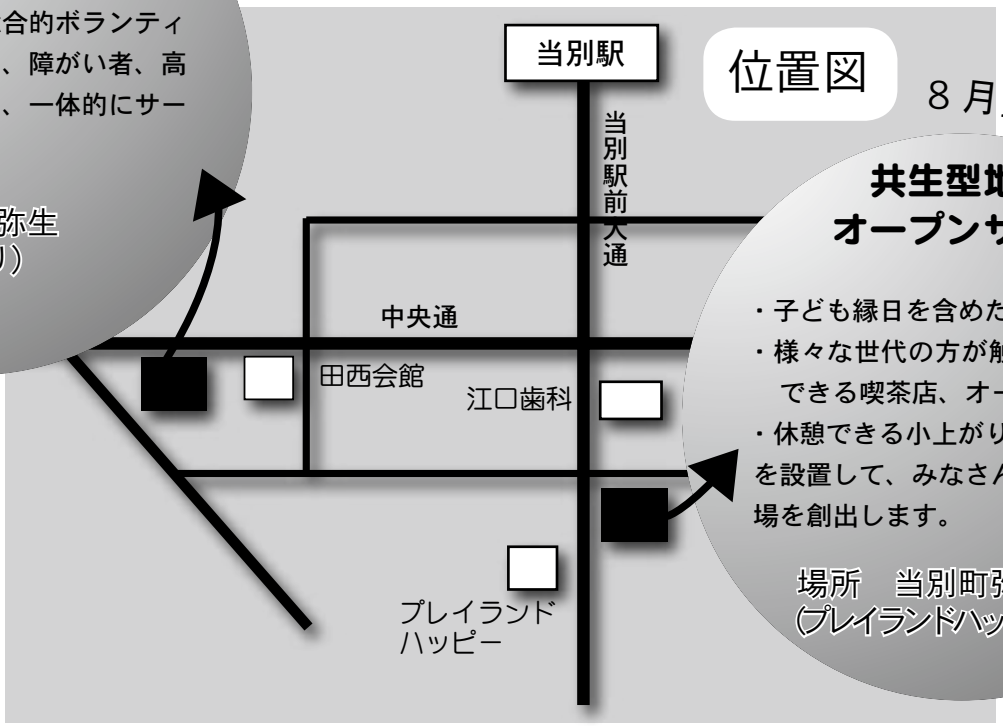
◆**詳細**　NPO法人当別町青少年活動センターゆうゆう24(☎22－2896)
福祉課障がいサービス係（ゆとろ内・☎25－2665）

7月中旬オープン

共生型地域福祉ターミナル

当別町内のあらゆる福祉情報の集積地となるように総合的ボランティアセンターを設置し、障がい者、高齢者、子どもに対し、一体的にサービスを行います。

場所　当別町弥生
（田西会館隣り）



8月上旬オープン

共生型地域オープンサロン

・子ども縁日を含めた駄菓子屋
・様々な世代の方が触れ合うことができる喫茶店、オープンスペース
・休憩できる小上がりのスペース

を設置して、みなさんが交流できる場を創出します。

場所　当別町弥生
（プレイランドハッピー向い）

地域オープンサロン

障がい者就労の活動拠点に

障がい者が高齢者ボランティアなどの支援を受け、子どもたち、地域住民とふれあいながら、創作活動や就労訓練ができる環境を創出し、新しい共生型の日中一時支援事業として実施します。

◇障がい者の就労場所

・コミュニティーカフェ
そば打ちのプロ、地域のおばあちゃんなど、地域の方が広く参加して実施するカフェです。

・地域の子どもたちを対象とした駄菓子屋さん

世代を超えた交流を目指す

オープンスペースを子どもたちの遊び場にすることにより、高齢者や障がい者、地域住民との交流を推進します。また、高齢者ボランティアが障がい者への就労支援で指導的役割を担い、駄菓子屋でふれあう子どもたちへ文化的なことを教えるなど、自らの人生経験を活かせる機会を創出し、高齢者自身が元気に活動できる場を提供します。

◇オープンスペースの利用例

子育て・高齢者趣味のサークルの集いの場
北海道医療大学との連携による地域福祉講座の開催

7月中旬にオープンする共生型地域福祉ターミナル

地域福祉ターミナル

総合的ボランティアセンターを設置

当別は、ボランティア意識が高く、地域を支える力にもなっています。これまでは、高齢者等地域のボランティア、学生ボランティアと別々に活動していましたが、ゆとろにあった社会福祉協議会ボランティアセンターを地域福祉ターミナルに移し、コーディネーターを置くことによって、一体となった総合的なボランティアセンターを創出します。

さらには、ボランティアを受けたい方も登録し、需要と供給を結びつけることを目指します。

このような社会福祉協議会とNPO法人が協働で事業を実施することは、あまり例がなく、全国的に注目を集めています。

会議やサークル活動の場に

会議などを開催できるスペースを作り、各種サークルや団体の活動場所として利用してもらうほか、スペースの一部に絵本や遊具を設置して子育てママの集いやサークルの活動場所を設置します。このことにより、高齢者ボランティアや学生ボランティアとの世代間交流を生み出すことを目指します。

ボランティア活動で地域を活性化

ボランティア活動をした方に対して、当別町ポイントカード会が実施しているアウルカードに点数（30分1ポイント）をつけることによって福祉と商工業が連携することができ、福祉を活かしたまちづくりにもつなげていきます。

社会福祉協議会 ボランティアセンター

小国　柑奈さん

様々な情報の発信基地に

これまでは、ボランティアセンターがゆとろに入っていたためにみなさんが広く集える場所がありませんでしたが、地域福祉ターミナルの中にサロンや会議室ができることによって人がいつでも集まる環境が整いました。

また、社会福祉協議会は高齢者ボランティア、ゆうゆう24は学生ボランティアというように別々に活動していたものが総合的ボランティアセンターを設置して1つにまとまることで情報の収集、発信がやりやすくなり、ボランティア情報の発信拠点にもなります。

これからは、福祉に限らず、住民の交流活動も発信していきたいですね。

NPO法人　ゆうゆう24

菅原　秀和さん

日常的に交流できる場に

障がい者が働いたり交流する場が市街地の中心にできることは新しい取り組みです。このサロンが障がい者の就労を通して、高齢者や子どもたちなど地域の方と日常的にふれあう場になっていけばと思います。

また、高齢者の方がよく「これからは、若い人たちにお世話にならないといけない」とおっしゃっているのを耳にしますが、このサロンに集まった子どもたちに昔遊びを教えたり、障がい者の手伝いをすることで高齢者のみなさんが「私がいなきゃ」という考えに変わり、生きがいづくりにもつながると思います。

是非、みなさん一度足を運んでください。